

第2章 現代の経済

2 現代経済のしくみ

5 金融のしくみと機能 (教科書 P.135~141)

▶1. 通貨と通貨制度 [p.135]

(1) 貨幣 (通貨)

貨幣…経済的取り引きの仲立ちをする (通貨：流通に投入されている状態)

→ [], 交換手段, 支払手段, 価値貯蔵手段の機能

(2) 通貨制度

金本位制…中央銀行の発行する銀行券 (兌換紙幣) と金の交換が義務づけられている制度

→紙幣の発行量が金保有量に拘束される

[] 制度…国家の信用にもとづく自由な通貨発行が可能

→不況克服のため, 大恐慌後の 1930 年代以降各国で採用

▶2. 金融市場と金融機関 [p.135]

(1) 金融とは…資金を融通し合うこと

直接金融：貸し手と借り手が直接資金を融通 (社債, 株式など)

[] : 金融機関を介して資金を融通

・金融機関…銀行, 信用金庫, 信用組合, 証券会社, 保険会社, ノンバンクなど

・金融市場…資金を取り引きする市場→融通の対価 (割合) = 利子 (利子率)

・証券市場…証券 ([])・社債などの債券) が売買される市場

→証券会社が仲介

▶3. 銀行の役割 [p.137]

銀行…資金貸借の仲介機関：普通銀行 (都市銀行や地方銀行) など

預金 (受信) 業務：預金者から資金を預かり, 利息 (預金金利) を支払う

貸金 (与信) 業務：[] などに資金を貸し出し, 利息 (貸出金利) を受け取る

為替業務, 決済業務などを行う

・通貨 = 現金通貨 (紙幣, 硬貨) + [] (当座預金・普通預金)

・[] = 銀行が貸し付けを通して預金通貨をつくり出す

▶4. 中央銀行の役割 [p. 137]

- ・中央銀行…一国全体の立場で金融活動を行う機関，日本は日本銀行
- ・日銀の役割…唯一の発券銀行，[] の銀行，政府の銀行
→最後の貸し手として金融秩序の維持をはかる

▶5. 金融政策 [p. 138]

- (1) [] …企業（金融機関を除く）や家計が保有する通貨量
→景気に影響

┌ 通貨量増加→経済活動活発化
└ 通貨量減少→景気後退の恐れ

- (2) 金融政策…中央銀行による物価・景気の安定化のための通貨量調節

┌ []（オペレーション）…債券類の売買を通じて通貨量を調節し
├ 利率を調整
├ 金利政策（公定歩合操作）…公定歩合を調節して通貨量を調整
└ 預金準備率操作…預金準備率を調節して通貨量を調整

→利率が下限になると通貨量そのものが目標となることもある

→デフレ時，インフレ率に目標を設定する場合（インフレ・ターゲティング）もある

→政策金利は，公定歩合から [] にかわった

▶6. 金融の自由化と金融再生 [p. 139]

- (1) 1970年代：国際通貨制度は変動相場制へ移行→資本の自由化の促進

- (2) 1980年代：金融の [] ・国際化が進展

→金融の空洞化，イギリスの金融ビッグバン

- (3) 1990年代：日本，バブル経済崩壊→金利の自由化・金融業務の自由化

橋本内閣，「[]」を公表

→金融市場の規制緩和

金融の自由化・バブル経済の崩壊

→護送船団方式の転換，金融システム再建への試み

- (4) バブル経済の崩壊

→金融機関に多額の〔 〕

→経営破綻の発生

〔 〕の低下, BIS 規制

→「貸し渋り」発生

(5) 金融システム安定化のための施策

- ・自己資本の低下した銀行への公的資金注入
- ・不良債権処理・破綻銀行再生のための条件整備
- ・ペイオフ制度
- ・〔 〕政策, 量的緩和政策などの導入

▶7. 金融をめぐる環境の変化 [p. 141]

(1) 規制緩和の影響…2000年代の金融環境

アメリカ: 銀行と証券間の規制緩和

→投資銀行の台頭→さまざまな金融商品の開発

(2) 金融危機の発生

2006年～: サブプライムローン問題 (サブプライムローンの焦げつき増加)

→投資家が証券化商品に疑心暗鬼

→〔 〕ショックから金融危機へ発展

→〔 〕へ

(3) 金融危機の影響と対策

- ・金融機関の多大な損失→インターバンク市場の決済に支障
- ・金融取引の規制緩和は諸刃の剣→適切な金融規制必要

自由化と金融規制のバランスが課題